

専門委員会開催報告

専門委員会名	2021年度第2回「原子力アゴラ」調査専門委員会
会議種別	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">本会議</div> 幹事会 メール審議 その他*() <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2022年3月11日(金)16:00～17:15 <small>メール審議の場合は開始、終了日を記入のこと</small>
開催場所	オンライン開催
参加人数	15名 中島健(主査)、長谷川秀一(幹事)、出光一哉、大井川宏之、岡本孝司、河合勝則、小山正史、関村直人、奈良林直、橋爪秀利、三浦信之、山口彰(以上、委員)、佐藤修彰、小宮山涼一、駒野康男(報告者・オブザーバ)
議事	<p>1. 前回議事録 前回議事録の確認を行い、承認を得た。</p> <p>2. 各分科会の活動報告 本委員会の下で活動している3つの分科会の活動状況及び今後の予定について報告を受け、意見交換を行った。</p> <p>1) 研究炉等検討・提言分科会活動報告(報告者:中島) 幹事会を開催し今後の活動内容を議論。研究炉の審査における安全規制の実態を整理し、その課題について提言等を行っていく。これに対して、IAEA等の国際的な基準が参考となるとのコメントがあった。</p> <p>2) 大学等核燃およびRI研究施設検討・提言分科会活動報告(報告者:佐藤) 大学における核燃・RI施設の課題と提言をとりまとめ、学会誌解説記事として公開。その内容について、原子力規制庁との意見交換を実施。今後、文科省も交えた学会企画セッション等での意見交換を予定している。これに対して、医療用RI利用の動きとの連携も図るべきとのコメントがあった。</p> <p>3) 地球環境問題対応検討・提言分科会活動報告(報告者:小宮山) カーボンニュートラル対応等の最近の動きを反映した報告書(フェーズⅡ)の2022年5月頃の公開を目指して、活動中。その内容については、2022年春の年会企画セッションにおいて報告予定。これに対して、昨今のヨーロッパ事情に基づくエネルギー保障・市場原理・地球環境の観点での議論が行われた。</p> <p>3. 今後の進め方について 基本的には上記の3分科会の活動を主として、本委員会において報告を受けてsその内容と方向性を検討確認していくこと、及び、本委員会としては年2回くらいの開催をすることが確認された。</p>
備考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	2021年度第1回「原子力アゴラ」調査専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() *分科会、WG等具体的に記入のこと
開催日時	2021年8月27日(金)16:00～18:30 メール審議の場合は開始、終了日を記入のこと
開催場所	オンライン開催
参加人数	15名 中島健(主査)、長谷川秀一(幹事)、大井川宏之、岡本孝司、小原徹、河合勝則、小山正史、関村直人、橋爪秀利、三浦信之、峯尾英章、山本章夫(以上、委員)、佐藤修彰、小宮山涼一、駒野康男(以上、報告者・オブザーバ)
議事	<p>1. 現状報告(活動レビュー)</p> <p>委員会主査の交代の経緯とその後の活動の状況について、報告があった。</p> <p>2. 各分科会の活動報告</p> <p>本委員会の下で活動している3つの分科会の活動状況及び今後の予定について報告を受け、意見交換を行った。</p> <p>1) 研究炉等検討・提言分科会活動報告(報告者:峯尾)</p> <p>研究炉の安全規制に関するグレーデッドアプローチ(GA)に関して、原子力器施行での活動を中心として、分科会と共同で考え方を整理し、2020年度に学会誌記事にて公開している。今後については、研究炉に関する新たな動きも踏まえ、具体的なGA案の検討・提案を行う予定。</p> <p>2) 大学等核燃およびRI研究施設検討・提言分科会活動報告(報告者:佐藤)</p> <p>大学等におけるRIおよび核燃料使用施設の現状と新規制への対応状況の調査と課題の整理を行い、報告書及び原子力学会誌記事として公開してきた。また、この課題を踏まえ、新規制の適用にかかる提言の取りまとめを行っている(学会誌投稿予定)。</p> <p>3) 地球環境問題対応検討・提言分科会活動報告(報告者:小宮山)</p> <p>2020年9月に最終報告書を公開したところであるが、その後にカーボンニュートラルに関する政府方針が示され、また、エネルギー基本計画見直しが始まったことから、本分科会の活動を継続。今後、次期の提言・報告書の作成・効果を行う予定。</p> <p>3. 今後の進め方について</p> <p>分科会報告を軸に年2回くらいの開催を予定。今後、分科会でカバーされないようなテーマがあれば委員からご提案してもらうこととした。</p>
備考	